

令和 7 年 12 月

各 位

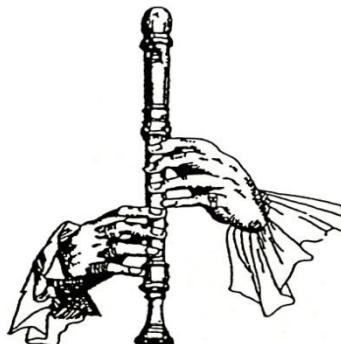
全日本リコーダー教育研究会

会長 後藤 俊哉

第 47 回

全日本リコーダーコンテスト

参 加 要 項



期 日	令和 8 年 3 月 29 日 (日)
会 場	東京 江戸川区 タワーホール船堀 5 階 大・小ホール (都営新宿線「船堀駅」北口よりすぐ)
主 催	全日本リコーダー教育研究会
後 援	全日本音楽教育研究会
(申請中)	東京都教育委員会 江戸川区 全国教育女性連盟

I 目的

このコンテストは、演奏および鑑賞をとおして、参加団体の親睦とリコーダーに関する研究活動を盛んにし、その普及と向上発展に役立てることを目的とします。

II 日時・会場

令和8年3月29日（日）東京 江戸川区 タワーホール船堀 5階 大ホール・小ホール

（〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 TEL：03-5676-2211）

開場：午前9時50分 開演：午前10時15分 終了：午後7時頃（出場団体数により変更あり）

※例年と会場が異なります。商業施設も含む建物で、全館貸し切りではないことにご注意ください。

※今大会も、会場での生演奏もしくは録音音源による審査の選択制といたします。

III 参加規定

1 参加部門

- ① 小学生の部 ② 中学生の部 ③ 高校生の部 ④ 大学生の部 ⑤ 一般の部

※各部門に「録音の部」を設けます（詳細は後述12（4）参照）。

2 編成区分

- ① 独奏（伴奏を付けても可。伴奏は指導者でも可）
- ② 重奏（ア、二重奏 イ、三重奏 ウ、四重奏 エ、五重奏以上）
- ③ 合奏（同一パートを2名以上で吹く場合はこの区分になります）

※リコーダーを中心とした編成を原則とします。

※合奏以外は、指揮者をおくことはできません。

※同一人物が①～③の同じ編成区分で重複して出場することはできません。

例：Aさんが、二重奏と四重奏に出場＝不可

例：Aさんが、小学校合奏と一般合奏に出場＝不可（団体名が異なっても不可）

※録音審査希望で、実際にステージで演奏できない編成での重奏のエントリーは不可とします。

例：市販のマイナスワン重奏音源+演奏者1名の録音、同一人物による多重録音

※ご不明な点がある場合は、申し込み前にお問い合わせください。

3 出場資格

(1)全日本リコーダー教育研究会の会員が主催するコンテスト大会等において推薦を受け、出場資格を得た個人または団体

(2)各部門の参加資格は次のとおりとします。

- ① 小学生の部…構成メンバーのすべてが小学生以下であること。
- ② 中学生の部…構成メンバーのすべてが中学生以下であること。
- ③ 高校生の部…構成メンバーのすべてが高校生以下であること。
- ④ 大学生の部…構成メンバーのすべてが大学生以下であること。
- ⑤ 一般の部……構成メンバーは、当該団体の団員であること。職業演奏家でないこと。

※メンバーの最年長の者の部門に出場するものとします。

例：小中一貫校で、小学生と中学生が一緒に参加する場合＝中学生の部への出場は可

※児童・生徒・学生以外が一人でも参加している場合は、一般の部となります。

例：教員が指揮・伴奏以外で演奏に加わる場合（打楽器など）＝一般の部

※学校名参加の場合は校長・学園長の同意書が必要です。(①～④の部門に、個人名や「○○アンサンブル」などの名前で参加する場合は不要です。)
※複数校での参加も可。ただし上記①～④に準じます。

4 出場制限

- (1) 同一団体名で参加できるチーム数は、3チーム以内とします。
- (2) 同一人物の同一編成区分での重複出場は不可とします。(上記Ⅲ 2 の※参照)
- (3) 出場資格を満たしていない個人および団体は出場できません。(上記Ⅲ 3 参照)
- (4) 基本的に地区大会で推薦された曲目・編成で出場することとし、メンバー増員・変更は認めません。(各地区予選のプログラムは、地区事務局より提出されています。)

5 演奏曲

- (1) リコーダーのオリジナル曲もしくは、リコーダーを主たる楽器として編曲された曲。
- (2) 編曲等された場合、著作権所有者の許諾を得ないまま演奏はできません。

※制限時間内であれば、数曲演奏されても可です。

※編曲等をされる場合は、必ず作曲家または出版社に許諾を得てください。

編曲許諾は録音審査の場合も必要です。

※組曲及び楽章がある曲については、申し込み時にどの曲・楽章を演奏するかを明記願います。

6 演奏時間

6分以内。時間超過は審査対象から外し「失格」とします。(全部門・全編成区分共通)

※演奏時間=曲の初音が鳴ってから演奏終了まで。曲間も含みます。録音審査の音源も同様です。

7 賞について

- ① 金賞・銀賞・銅賞…全団体に、審査の結果いずれかを贈ります。
- ② 指導者賞…各団体の指導者に贈ります。複数団体を指導されている方に対しては、原則として最年少部門の人数の多い団体名で贈ります。
※指導者賞の授与について、1プログラムで複数名の申請はできません。
- ③ 花村賞…金賞受賞団体の中から、各部門内で特に優れた団体に贈ります。
- ④ 徳山賞…初出場の団体に贈ります。(統廃合等で校名等が変更した場合も初出場とします。申込時に申告した団体に贈ります。)

※「録音の部」の演奏も、生演奏と同様に審査対象とし、「7 賞について」の各賞を与えます。

8 出場に必要な費用

(1) 参加費(全部門共通で、1ステージごとに必要です。合奏は人数により金額が異なります。)

① 独奏	8,000円
② 重奏	15,000円
③ 合奏(20名以下)	25,000円
合奏(21名以上30名以下)	35,000円
合奏(31名以上)	40,000円

※指揮者は合奏人数に含みません。(指揮者が音を出して演奏に加わる場合は含みます。)

(2) コンテスト参加登録料(1団体名ごとの登録となります。)

1団体 4,000円

※同一団体名で複数出場する場合は、まとめて4,000円です。

(3) 楽器使用料（楽器を借用する団体のみ必要です。）

電子チェンバロ（ローランド C50）…………… 3,500 円

グランドピアノ（ヤマハ）…………… 5,000 円

(4) 著作権使用料（全団体、1ステージごとに必要です。）

1ステージにつき…………… 1,300 円

※生演奏・録音とも、当日の演奏曲を、当研究会から日本音楽著作権協会（JASRAC）に申請し、著作権使用料を支払います。複数出場する団体は 1300 円×ステージ数となります。

※JASRAC の使用料算定方法が変わったため、今回より、参加する全団体に一律でご負担いただく形に変更いたします。金額は、これまでの大会でかかった金額をもとに推定したものです。

(5) 表彰状等送付料（録音の部参加団体・表彰式を欠席する団体のみ必要です。）

1団体…………… 500 円（手数料込）

9 パンフレット代金

予約販売 1部 600 円（参加申込時限定）／当日販売 1部 700 円

※当日販売数は 200 部限定とします。できる限り予約をしてください。

10 レプリカ賞状代金

希望者に対し、一般賞状（上記 7 ①）のレプリカ（A4 サイズ）を有料で配付いたします。

事前予約のみ 1枚 170 円

※団体名・曲名・作編曲者名・出演者の氏名（合奏以外）が載ります。

※レプリカは金・銀・銅の賞名部分は空欄でお渡しします。各団体でご記入ください。

※指導者賞・花村賞・徳山賞のレプリカは作成いたしません。

11 出演者証と入場券

出演者証……生演奏の団体の出演者（演奏者・指揮者）は入場券の代わりとなる「出演者証」で入場します。

※小学生・中学生・高校生の団体には、+引率者 1 名分を送付します。

入場券……予約販売・当日販売とも 1名 1,000 円（小学生未満は無料）

※今回から入場券予約販売を行います。当日の会場での入場券販売も行いますが、窓口の混雑を避けるため観覧希望者分はできるだけ予約してください。

※予約入場券の払戻・再発行はいたしません。（くれぐれもお忘れにならないようお願いいたします。）

※今回の会場は客席数が例年より少ないため、来場者数把握のためにも予約をお願いいたします。

12 参加申し込み方法

下記の(1)(2)(3)を、すべて申込締切日までに行ってください。※録音データ締切は後述(4)参照

申込締切日 令和 8 年 2 月 13 日（金）

(1) インターネットを通じての申し込み（24 時まで）

1ステージごとに、全日本リコーダー教育研究会 HP の申込フォームに必要事項を記入し、送信完了してください。

※申込フォームは1月下旬に開設予定です。

※申込フォームにアクセスするためには、パスワードが必要です。本大会への推薦を受けた団体には、各予選大会事務局よりパスワードが通知されます。

※原則として、送信後は申込内容の変更はできません。最後の内容確認画面をしっかりとチェックしたうえで、送信完了ボタンを押してください。(完了ボタンを押すまで送信されません。) 生演奏→録音参加への変更に関しては、メールにて直前まで認めます。(後述(4)参照)

※申込フォームは締切日の24時に閉鎖します。それまでに必ず送信完了してください。

(2) 必要書類等の郵送（当日消印有効）

次の①～⑤の書類をそろえて、下記の宛先へ郵送してください。

①連絡用の角2封筒…表面に、郵便番号、住所（都道府県名から）、団体名、申込者氏名を記入し、320円分の切手を貼ってください。

※封筒下部に学校名等が印刷されていてもそのままでは届きません。必ず宛名欄に記載してください。

※同一の宛先の場合は、まとめてかまいません。その場合は団体名を併記してください。

②使用する楽譜の出版社名、作曲者名、編曲者名がわかるページのコピー（A4サイズ）

③参加費等の振り込み控えのコピー…添付用紙をHPからダウンロードし、貼付してください。

④学校長・学園長・学部長の出場同意書…HPからダウンロードし、記入・押印してください。

※学校名で出場する団体のみ必要です。個人名や独自の団体名で出場する場合は不要です。

※複数校で合同出場する場合は、すべての学校の出場同意書が必要です。

⑤編曲許諾書のコピー…出場団体で編曲して演奏する場合、著作権所有者の許諾が必要です。許諾書の書式は問いません。著作権所有者が編曲・演奏を認める旨がわかれれば結構です。

※編曲については、後述の「15 著作権についての注意事項」をお読みください。

郵送先 〒214-8799 登戸郵便局留 全日本リコーダー教育研究会 漆畠友美

※宛名は漢字も正確にご記入ください。こちらで受け取れない場合があります。

(3) 参加費等の振り込み

諸費用（上記Ⅲ 8～11 参照）を、下記の口座へお振り込みください。

銀行名：三菱UFJ銀行 大山支店 普通預金 店番号187

口座番号：0648199

口座名義：全日本リコーダー教育研究会 会計 井戸正利

※確認時の便宜のため、振込名義＝団体名にしてください。

(4) 録音審査用音源の提出

「**録音の部** 参加の団体は、1ステージごとに審査用の演奏録音データを作成し、下記締切日までに送付してください。

録音データについての詳細は、別紙「審査用録音データについて」をご参考ください。

録音データ提出締切日 令和8年3月23日（月）24時

※生演奏申込団体も、念のため事前に録音しておくことをお勧めします（音源提出は義務付けません）。メンバーが傷病等で急に会場に来られず、生演奏ができなくなった場合は、前日までにメールでご連絡のうえ、音源データを提出していただければ、録音審査に変更可能です。

13 感染症対策

本大会は、全国から、子どもを含めた多くの人が集まります。

感染症のリスクを少しでも下げるため、出演者・来場者共に下記の点をお願いいたします。

- ①当日朝に必ず検温を行い、発熱や風邪症状が見られる場合は来場を控えてください。
- ②ホール、ロビーなど建物内ではできるだけマスクを着用してください。
- ③入館前などに適宜手指の消毒や手洗いをしてください。
- ④会場内の会話は最小限にしてください。

14 その他

- (1) 申込後の演奏曲目等の変更や、現金による費用支払いは受け付けません（**当日入場券**・**当日パンフレット**購入は除く）。
- (2) 納入された参加費等は、いかなる場合にも返金いたしません。
- (3) 宿泊・交通費その他、コンテストに要する費用は出場団体の負担とします。
- (4) 不慮の事故等の責任は参加責任者が負うものとします。
- (5) 参加者の鑑賞態度や衛生面の指導等は、団体責任者が責任をもって行ってください。
- (6) 申込受付後、出演要項、タイムテーブル、領収書、出演者証、**予約入場券**等を郵送します。よくお読みいただき、ご不明な点があればお問い合わせください。
- (7) 当日の昼食等の業者斡旋はいたしません。会場内の飲食店に申し込む場合は、団体名でお願いします。また、ゴミは必ず持ち帰ってください。
- (8) 録音参加の場合、表彰状・講評用紙等は後日郵送します。
- (9) **会場には大型バスの駐車場はありません。**
- (10) 練習場所確保のための、旅行業者等による近隣学校への依頼はご遠慮ください。
- (11) zen.rikoken@gmail.com からのメールを受信可能にしておいてください。
- (12) 全日本リコーダーコンテストの記念 CD が株フォンテックにより制作販売されます。録音を承認される団体は申込フォームにチェックを入れてください。チェックなしの場合は自団体の記録も残りませんのでご注意ください。また収録に関してはあとの 15(1)※もご確認ください。
※自団体の記録動画撮影については条件付きで許可する予定ですが、会場の広さの都合で難しい可能性もあります。詳しくは後日決定し、ご連絡いたします。
- (13) 当日の動き等について、申込締切日以降に出演者向けのオンライン説明会を行う予定です。開催日は後日ご連絡いたします。なるべくご参加ください。説明会に参加できない団体は後日、録画配信を行う予定ですのでそちらをご覧ください。
- (14) 出演者や関係者、その他有志の方を対象に、当日の会場運営をお手伝いいただけるボランティアスタッフを募集いたします。出演団体には後日、スタッフ登録用の google フォームへのリンクをお送りします。登録は義務ではなく、任意です。少数の役員で運営している状況ですので、部分的にでもお手伝いいただけたとありがたいです。

15 著作権についての注意事項

作曲者の死後 70 年を経ていない大半の作品には著作権が存在します。(太平洋戦争前又は戦争中に連合国民が取得した著作権については、通常の保護期間に最長 10 年程度が加算されます。)

大会当日の演奏に関する著作権使用料は JASRAC の管理ですが、編曲に関しては、著作権の所有者(作曲者やその親族、出版社など)が権利を有しています。

録音審査の場合も著作権使用料がかかります。編曲許諾も必要です。

(1) 著作権の存在している曲を、編曲して演奏する場合

① 出場申込み前に、著作権の所有者に編曲・演奏許諾の申請をし、許諾を得てください(まずは出版社に連絡してみてください)。

② 許諾書のコピーを他の必要書類とともに郵送してください。許諾書の書式は問いません。

※著作権の存在する楽譜を変えて演奏することは編曲とみなされる場合があります。

例: リコーダー以外の楽器のために作曲された楽曲(弦楽、金管、合唱など)を演奏する。

※編曲を認めない作曲者もいらっしゃいます。許諾がないと当日演奏できない場合もあります。

※許諾がされていても、「演奏はコンテスト当日に限定する」などの制限がある場合、大会後に販売される CD への収録はできません。ご了承ください。

※編曲・演奏許諾に関して生じた問題は出場団体の責任で処理していただきます。

(2) 申込フォームへの楽曲情報の記入について

・外国曲の場合は、必ず題名と作曲者名・編曲者名を原語で記入してください。楽譜に記載がない場合はインターネット等で調べて記入してください。(無記入の場合は申込受理しません。)

・組曲や、楽章が分かれている曲は、どの曲・楽章を演奏するかも記入してください。その際、曲番号・楽章番号だけでなくタイトルもできるだけ記入してください。JASRACで個別に登録されている場合、番号だけでは判別できない場合があります。

※JASRAC への申請時に必要なだけでなく、審査においても必要な情報です。もれなく記入をお願いします。

出演順・出演時間等に関するご要望にお応えすることはできません。ご了承ください。

例年、大・小ホールとも、プログラム 1 番は午前 10 時前後にチューニングが始まります。

出演順決定は、2 月 23 日頃の予定です。

決定次第、HP にタイムテーブルを掲載しメールでご連絡いたしますので、ご確認ください。

16 会場へのアクセス

都営新宿線「船堀駅」北口を出てすぐ、タワーホール船堀があります。

大会受付や大・小ホール、チューニング室等はすべて5階です。

エレベーターまたはエスカレーターで5階へ上がってください。

※全館貸し切りではありません。建物内には会議室や披露宴会場等もあり、コンテスト以外の利用者が大勢いらっしゃいます。館内で騒いだり、使用するエリア以外に滞留したり、エレベーターを長時間止めたりすることのないよう、特に大人数の団体引率の方はご注意ください。

タワーホール船堀 HP <https://www.towerhall.jp/>



【連絡先】

全日本リコーダー教育研究会 副会長 富山 和幸

〒350-0016 埼玉県川越市木野目1451

川越市立南古谷小学校

TEL : 049-235-2150

(お問い合わせは基本的にメールでお願いいたします)

Mail : zen.rikoken@gmail.com

HP : <http://www.zenrikoken.com/>